

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2020年度第3回常任幹事会議事要録

日時：2021年3月12日（金）14時～16時30分

場所：web会議（日本福祉大学）

参加：日本福祉大学（亀谷和史、松橋秀親、石川宗臣）

愛知大学（中村直美、島田美津穂）、

愛知工業大学（村瀬洋、加藤直美、榎岡憲司）、藤田医科大学（岩井芳弘）、

人間環境大学（大橋梨沙）、名城大学（川村信一）、椙山女学園大学（松野高德）、

中部大学（高井真珠代）

敬称略

議事に先立ち、理事校日本福祉大学（松橋）より東海地区協議会会則に基づき2020年度第3回常任幹事会を開催する旨説明があった。議事進行は議長として選出された日本福祉大学附属図書館長（亀谷）が担当し、冒頭に次期理事校愛知工業大学の図書館長が陪席されている旨の紹介後、下記の議題を協議した。

[報告事項]

1. 私立大学図書館協会、西地区部会関係

(1) 第2回東西合同役員会

(2) 第2回西地区部会役員会

理事校日本福祉大学（石川）より資料（p1～9）に基づき報告があった。

(3) 委員会報告

1) 協会賞審査委員会

協会賞審査委員校愛知工業大学（加藤）より資料（p10）に基づき報告があった。

2) 研究助成委員会

理事校日本福祉大学（石川）より資料（p10～12）に基づき報告があった。

3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員校名城大学（川村）より資料（p12～14）に基づき報告があった。なお、第8回委員会が3月に開催される予定との補足説明があった。

4) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員校名城大学（川村）より資料（p14～15）に基づき報告があった。なお、協会ホームページ委員会は、3月末をもって廃止されるとの補足説明があった。

2. 東海地区大学図書館協議会

理事校日本福祉大学（松橋）より資料（p16）に基づき報告があった。

[審議事項]

1. 2020年度東海地区協議会事業報告および中間決算（案）について
理事校日本福祉大学（松橋）より資料（p17～19）に基づき2020年度東海地区協議会事業報告について、また理事校日本福祉大学（石川）より資料（p20～21）に基づき説明があり、承認した。
2. 2020年度東海地区協議会研究会活動報告および中間決算（案）について
研究会運営委員長校愛知工業大学（加藤）より資料（p22～24）に基づき説明があった。資料p23の実務担当者研修会の開催年（2021年）に誤りがあり、2020年に訂正のうえ、承認した。
3. 2021年度東海地区協議会役員校および委員校（案）について
次期理事校愛知工業大学（加藤）より資料（p25～26）に基づき説明があり、承認した。
4. 2021年度東海地区協議会事業計画（案）について
次期理事校愛知工業大学（加藤）より資料（p27～29）に基づき説明があり、承認した。なお、2021年度末に発行する『館灯』については、第59号と第60号の合併号として発行することを確認した。また、参考として第82回（2021年度）私立大学図書館協会総会・研究大会が東海地区の愛知大学が当番校となり開催されることにかかわり、簡単な紹介があった。
5. 2021年度東海地区協議会総会（案）について
次期理事校愛知工業大学（加藤）より資料（p30）に基づき説明があり、承認した。なお、総会開催方法は未定だが、次回2021年度第1回常任幹事会までに検討すること、総会後に講演会を開催予定との補足説明があり、了承された。
6. 2021年度東海地区協議会予算（案）について
次期理事校愛知工業大学（加藤）より資料（p31～33）に基づき説明があった。今回加盟会費を2分の1として予算化しているが、4分の1とすべきか意見をいただきたいとの打診があった。
愛知大学（中村）より、加盟会費2分の1については賛同の意見があった。また繰越金が4年間で100万円ほど増えているため、今後基金化するなどして縮小していく必要がある検討が必要との意見が出された。
日本福祉大学（石川）より、東海地区協議会総会への提案に際し、その根拠が必要との意見が出され、「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会費に係る申し合わせ事項」に記載の事態変化により臨時に変更とすることで了承された。
以上を踏まえ、提案どおり加盟会費を2分の1とする予算（案）を承認した。

7. 2021 年度東海地区協議会研究会事業計画および予算（案）について

次期研究会運営委員長校椋山女学園大学（松野）より資料（p34～36）に基づき説明があり、承認した。

なお、「研究会意見交換会会費」が収入の部にあるが、支出の部にかかわり確認があったが、愛知工業大学、愛知大学より、意見交換会費は研究会終了後に行う会食を伴う意見交換会であり、支出の部の「研究会費」に意見交換会会費が含まれるとの説明があった。

8. 私立大学図書館協会西地区部会スリム化検討の推進について（案）

理事校日本福祉大学（松橋）より資料（p37、別紙）に基づき説明があった。西地区の各地区との間では温度差があり、西地区全体として2年間でスリム化を実現させるのは難しい状況ではあるが、東海地区としては次年度以降2年間を目標に検討を進めていきたいとの説明があった。また次期理事校愛知工業大学（加藤）からも、スリム化に向けた着地点については慎重に審議していきたいとの説明があった。愛知大学（中村）からは他地区運営の仕方や行事の仕方が異なるため、着地点は異なるものと思われるとの補足があった。

椋山女学園大学（松野）より、地区活動の縮小に向けた検討課題であげている「館灯の発行」について質問があり、理事校日本福祉大学（松橋）より、各地区での活動を縮小していくことに伴い、今後『館灯』を発行するかどうかも含めて検討していくこととなるとの説明があった。

スリム化検討委員会で確認された内容としての具体的方針（案）である(1)業務委託化を含み、西地区全体で輪番制を組み直す。(2)地区活動を2年間で縮小する（輪番制の進行に合わせて2年を目標に掲げる）。および東海地区での検討課題にかかわり、次の点を含め承認した。

- ・東海地区協議会活動の縮小に向けた見直しについては、今後2年を目標に検討を進めていく。
- ・東海地区のスリム化検討母体としてワーキングを立ち上げ、常任幹事校を中心メンバーとして位置づける。

9. 2021 年度以降の理事校、役員校、当番校（案）について

理事校日本福祉大学（石川）より資料（p38～40）に基づき説明があり、承認した。

[懇談事項]

1. 理事校引継ぎ資料（過年度分）の今後の取り扱いについて

理事校日本福祉大学（松橋）より資料（p41～47）に基づき、現在の引継ぎ資料および『館灯』の保管状況および今後の取り扱いについて説明があった。また、データとしては過去4年間および本学理事校2年間、計6年間のデータを次期理事校に引き継ぐことができるとの補足があった。

中部大学（高井）より、『館灯』を少数残すのは賛同する、東海地区協議会総会で

冊子の保管状況を確認してはどうか、また自動化書庫のある大学への問い合わせも検討してはどうかとの意見が出された。

愛知大学（中村）より、加盟館においては、図書館の所蔵資料としている大学と事務保管などにより所蔵資料としていない大学があることから、取り扱い方も加盟館に確認したらどうか、希望があれば寄贈するなど検討したらどうか、との意見が出された。

上記を踏まえ、取り扱いの方向性が決まるまで、現在保管中の大学が当面そのまま資料を保管しつつ、スリム化検討のなかでこの件も検討することを確認した。

[その他]

最後に、次期東海地区協議会理事校愛知工業大学の村瀬図書館長より、次期理事校としての挨拶があった。

以上